

新潟県優良リサイクル事業所 表彰 受賞企業のご紹介

株式会社 エコ・プロジェクト

受賞理由

生コン残さを再利用可能にする処理材の開発・製造により、資源の循環利用に貢献している。

<連絡先>株式会社 エコ・プロジェクト

【住所】〒959-2426新潟県新発田市向中条1806-26

TEL.0254-20-8080 FAX.0254-20-8820

受賞の取組み

当社では、農地などでも使用可能な環境に安全な無機系固化材「泥ん固」等を開発・製造しており、製品は「Made in 新潟」にも登録されています。当社が製造する「AC-096」は、生コン残さを資源として有効活用可能にするとともに、処理材自体にもリサイクル原料を取り入れることで、廃棄物の再生利用に加え、製品ライフサイクル全体でのCO₂排出削減にも貢献しています。



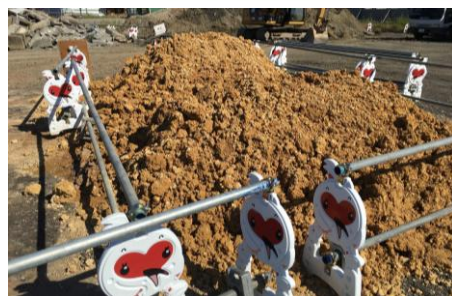
生コン残さ(スラッジ)

注目技術・成果

生コン製造工場が発生する汚泥(スラッジ)や、現場から戻ってくる余剰分の「戻りコン」等の生コン残さは、全国的にその処理が課題となっています。破碎し再生骨材にする一般的なリサイクル方法は、騒音や振動が課題となる場合があり、再利用できない場合は処分場の容量圧迫につながります。

中性化処理材「AC-096」は、高アルカリ性の生コン残さを中和し、有害な六価クロムを不溶化することで、防草土などにリサイクル可能とする製品で、2016年には特許を取得しました。

また、「AC-096」の原材料には新潟県内の事業活動から生じた廃棄物由来のリサイクル材も活用しており、資源の循環利用に貢献しています。



生コン残さをAC-096にて改良したもの

展望

「AC-096」は発売以降需要が伸び、特に処分場の確保が難しい離島やへき地での採用が進んでいます。県内では、生コン製造事業者と連携し、防草土として国道工事に採用されました。

今後は国外展開として東南アジアへの進出を視野に入れ、タイの企業と協業して、現地での製造を計画しています。



タイでの実機テスト

新潟県優良リサイクル事業所 表彰 受賞企業のご紹介

株式会社サニックス資源開発グループ 新潟工場



受賞理由

廃プラスチック由来発電用燃料の製造を通じて、廃棄物のエネルギー資源への転換に貢献している。

＜連絡先＞ 株式会社 サニックス資源開発グループ 新潟工場
【住所】新潟市北区島見町2386番地8号
【TEL】025-257-4366 【FAX】025-257-4367

受賞の取組み

当工場は株式会社サニックス資源開発グループが全国15か所に展開する「資源開発工場」の一つです。県内の企業等から排出される廃プラスチックを破砕・圧縮し、発電用フラフ燃料等を製造しており、廃プラスチックのエネルギー資源への転換に貢献しています。

また、排出事業者に対しては、当社が提供する廃棄物一元管理システム「環境エースー元くん」の活用を提案し、環境保全意識の向上にも寄与しています。



資源循環フロー図

注目技術・成果

当社では、2003年にプラスチック燃料専焼発電所を創業し、「資源開発工場」で破砕・圧縮した廃プラスチックを発電用燃料として有効活用する独自の「資源循環型発電システム」を確立し、廃プラスチックのサーマルリサイクルを通じて、廃棄物エネルギーの回収・利用に貢献しています。

特に当工場では、廃プラスチックの分別を徹底することで燃料の品質向上を図り、自社工場の中で最も高い発熱量を実現するなど、より質の高い燃料供給に発展させています。高品質な燃料は、自社発電所だけでなく、他施設のボイラー燃料にも供給しています。

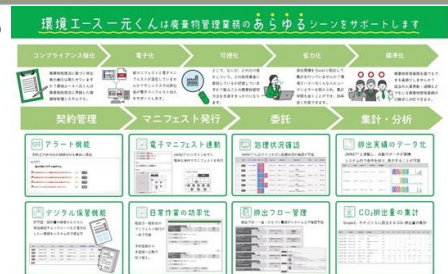


(株)サニックスエナジー 苫小牧発電所

展望

当工場では分別の強化により、マテリアルリサイクルを増加させるとともに、リサイクルされない廃棄物を減少させています。

また、排出事業者に対し、廃棄物一元管理システム「環境エースー元くん」の活用を提案することで、業務のDX化を支援するとともに、環境保全意識の向上に取り組んでいます。



環境エースー元くんは廃棄物管理業務のあらゆるシーンをサポートします
廃棄物一元管理システム「環境エースー元くん」